ホームヘルプサービスのICT化

シズケアかけはしの活用

社会福祉法人　春風会
ぬくもりの里ホームヘルプサービス

1. はじめに

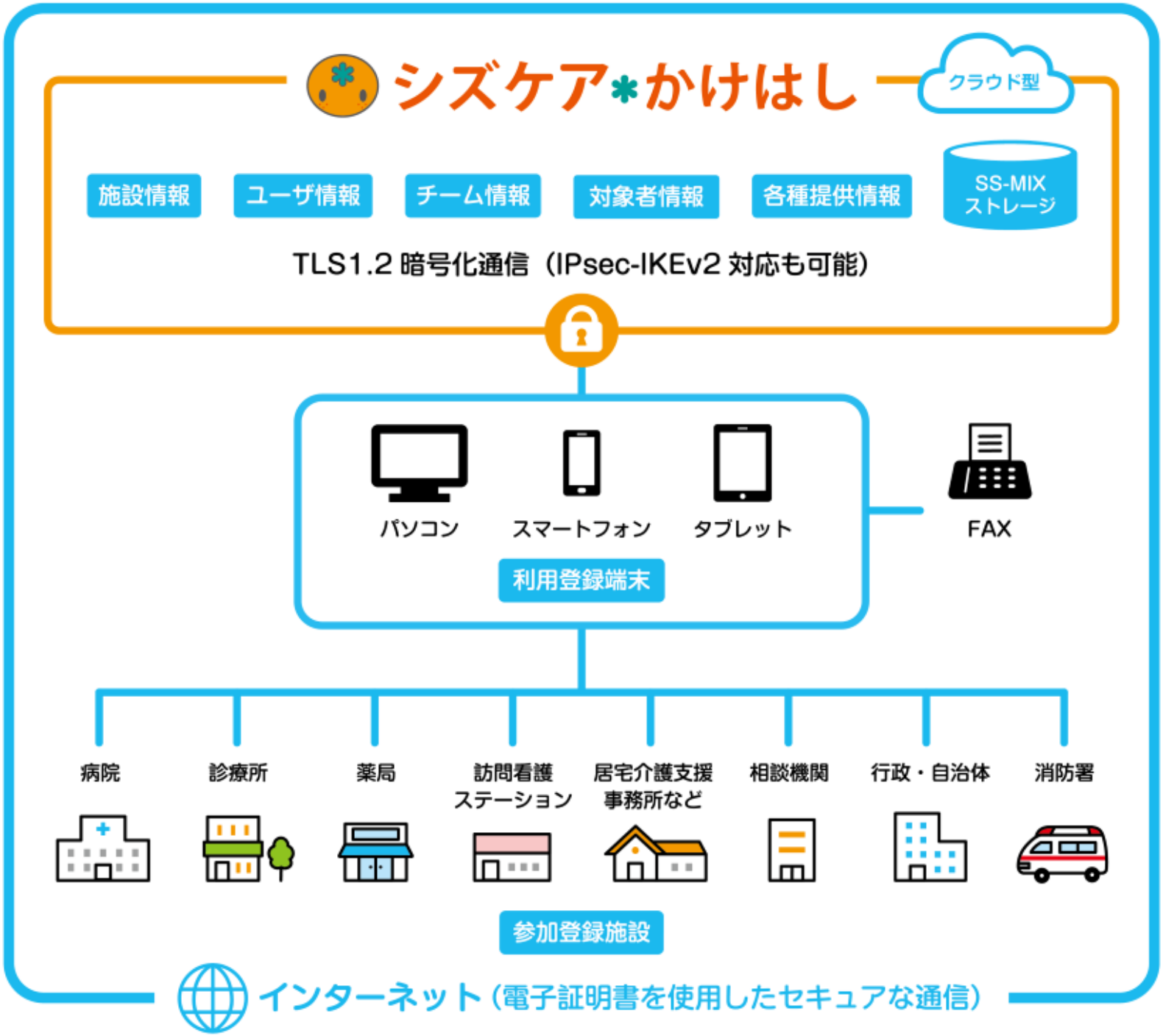
- 医療的リスクのある方は不安の中での訪問だった。
- 担当者会議は各事業所が顔を合わせる貴重な場。

コロナ禍の影響でZOOM開催や照会という形での方法が主となった。

↓

介護現場でもICT化が進んできた。

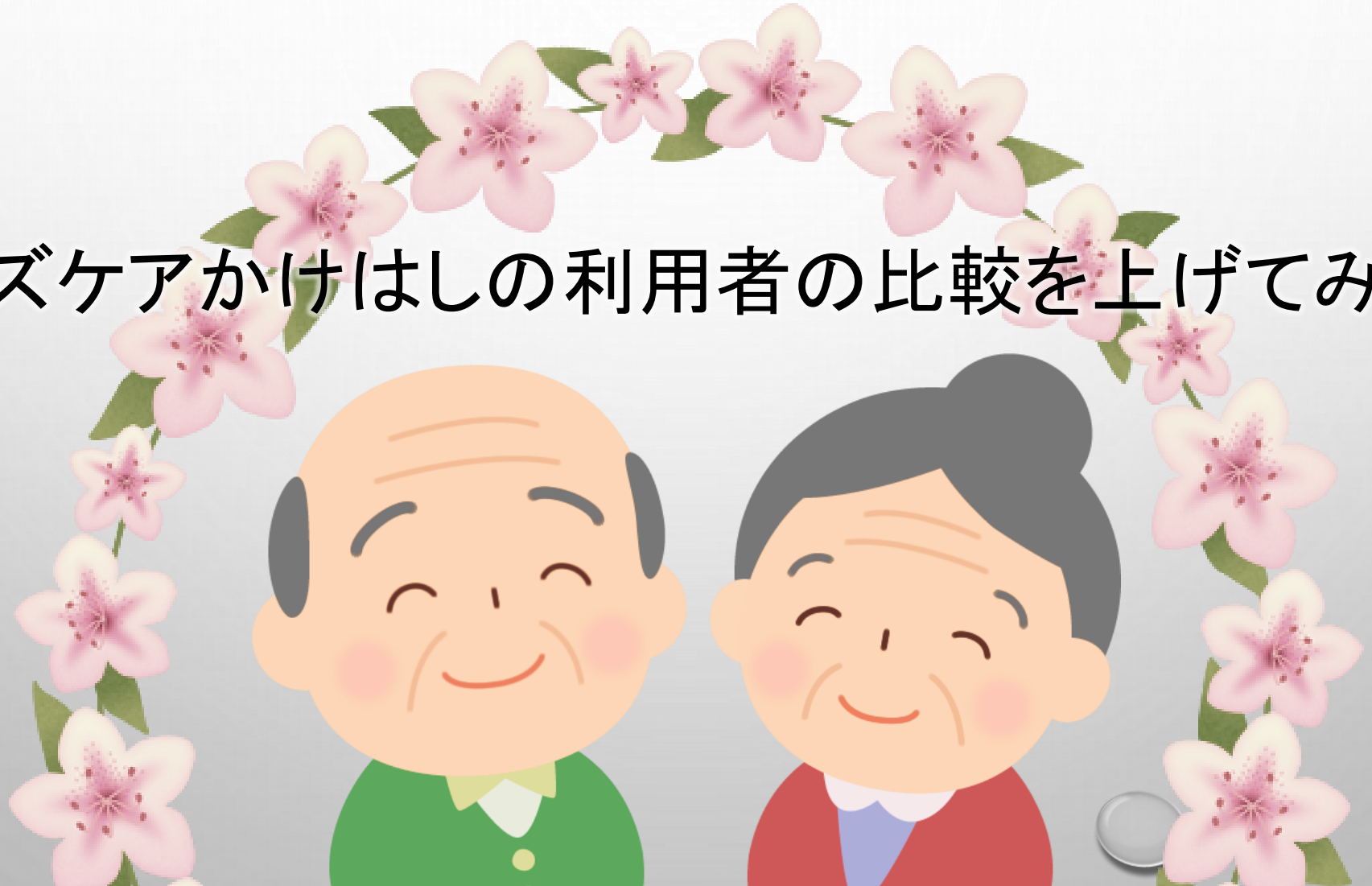
情報共有ツール「シズケアかけはし」を使ってみた！


シズケア＊かけはし
クラウド型
施設情報
ユーザ情報
チーム情報
対象者情報
各種提供情報
SS-MIX
ストレージ
TLS1.2 暗号化通信（IPsec-IKEv2 対応も可能）
パソコン
スマートフォン
タブレット
利用登録端末
FAX
病院
診療所
薬局
訪問看護
ステーション
居宅介護支援
事務所など
相談機関
行政・自治体
消防署
参加登録施設
インターネット（電子証明書を使用したセキュアな通信）

シズケア＊かけはしで
できること
情報共有
掲示板
セキュアメール
施設サービス検索・折衝
便利機能

2. 具体的な取り組み

シズケアかけはしの利用者の比較を上げてみた



事例

A様　〈令和4年6月16日～訪問開始〉

78歳　女性　要介護　5

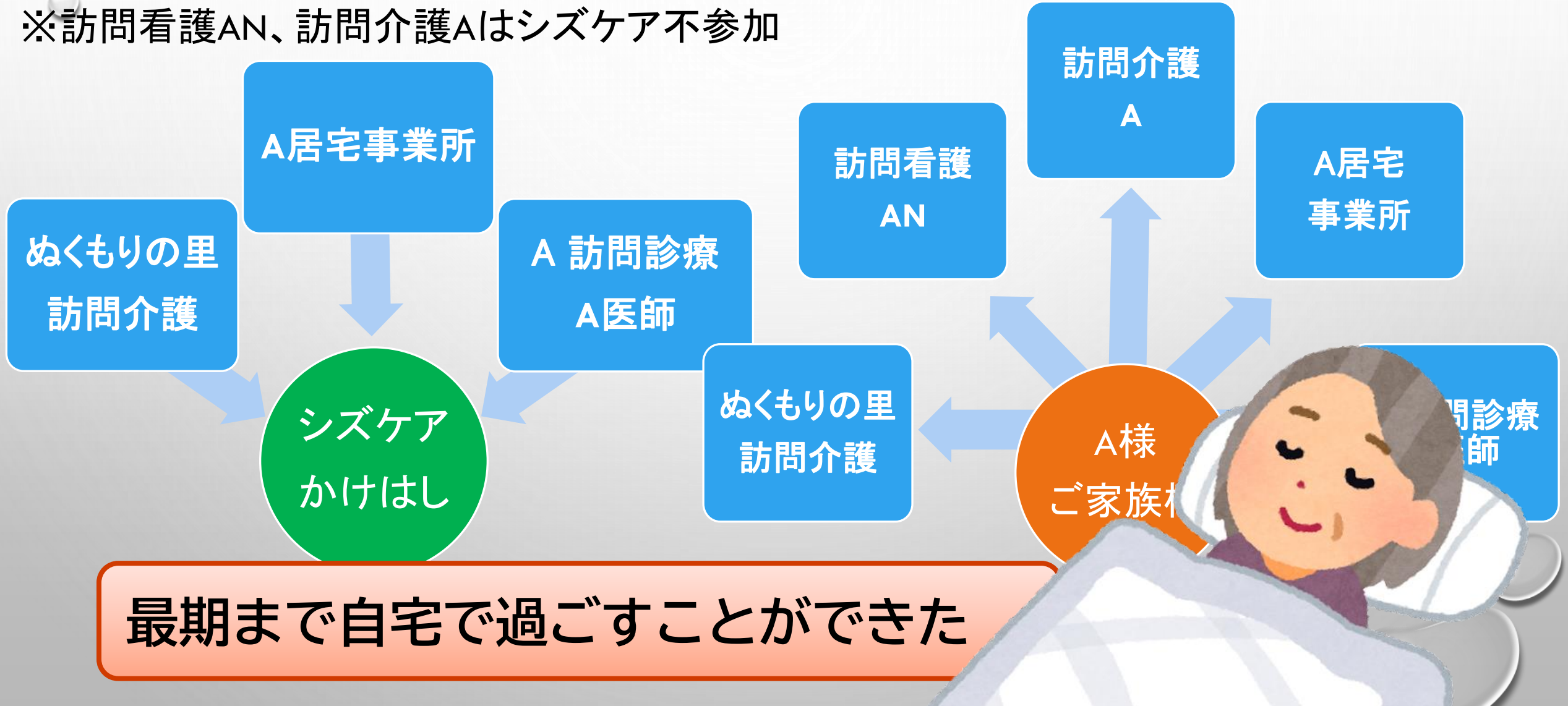
リンパ腫　末期
余命　2か月の診断

★訪問日程★

月	火	水	木	金	土	日
訪問介護 A	訪問介護 A	10:00～ 50分	訪問介護 A	訪問看護 （医療）	訪問介護 A	
訪問介護 A	訪問入浴	訪問介護 A	15:00～ 50分	訪問介護 A	16:00～ 50分	

A様 〈シズケアかけはし〉 参加

※訪問看護AN、訪問介護Aはシズケア不参加



最期まで自宅で過ごすことができた

B様　〈令和4年2月4日～訪問開始〉

79歳　女性　要介護2→要介護5　　独居

右肺腺癌終末期

★訪問日程★

月	火	水	木	金	土	日
	訪問看護A	13:00～50分	訪問看護A	13:00～50分		

B様 〈シズケアかけはし〉 参加

・最初は掃除支援だったがすぐに身体の支援に変更になった。

・痛みに我慢強い方で、各事業所の連携が必要であった。

家に出来るだけ居たい・・・

家族に迷惑をかけたくない・・・

基本情報 | 提供情報 | 共有チーム情報 | 情報を送る | 救急情報

No.34：3/11ヘルパー訪問時の様子です。

前へ　次へ　一覧に戻る　印刷

タイトル	3/11ヘルパー訪問時の様子です。
情報共有範囲	共有チーム
フラグ	重要
種別	訪問メモ
メモ	訪問日時：2022年3月11日 体温：37°C、血圧：最高144／最低91mmHg、脈拍：87回/分 胸のあたりの痛みが、首の後と両側の肋骨に変わってきた、と仰っていました。お弁当は昨日も今日も手付かず。朝、ごはんに卵で食べたので、今はそんなにお腹が減っていないと話されるも、ヘルパーが持参したドリンクゼリー(パワミナ200バナナ味)を5口ほど、口に含んで摂取されました。ちょうどベッドより臥床したので、痛みのある箇所、背中をさすりました。気持ち良いと仰って下さいました。歩けない。と訴えあり、温めたタオルで顔を清拭。陰部清拭(ベッド上でヘルパー介助。)排尿殆どなし。カーテンを開けて、換気。陽の光を入れました。ご本人様も「本当はこの方がいいのよね。」と仰っていました。９時半にカロナール服用、次、カ ロナールは２時半くらいにまた服用すると話されていました。

シズケアかけはしで
訪問時の様子を
送信！

No.1　登録者：[redacted]　2022/03/11（金）20:16

詳細のご報告ありがとうございます。

皆さんが「入院が良いのでは」と仰る理由がよくわかりました。

14日よく相談したいと思います。

引き続き宜しくお願い致します。

既読解除　　既読者：4人

訪問診療の医師より返信が来ました！

シズケアかけはしに入力したことで入院が決定！

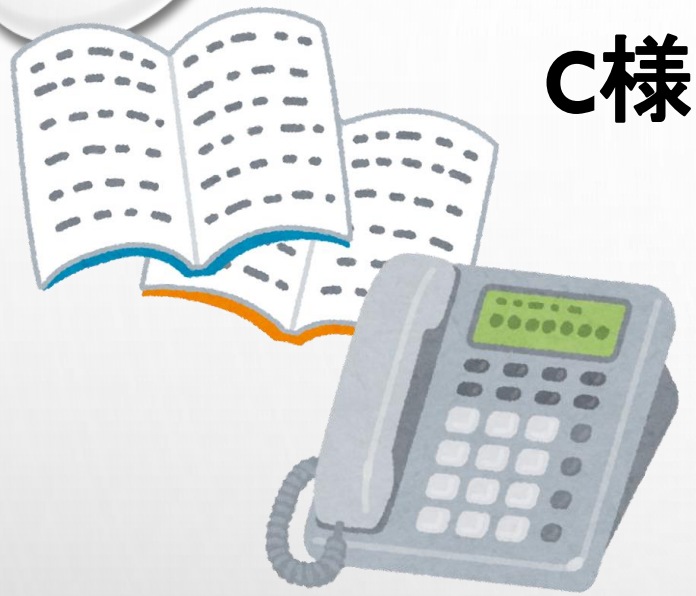
C様 〈令和4年8月20日～訪問開始〉

51歳　女性　要介護　4

乳がん術後転移
（肝臓、骨、胸椎、腰椎、リンパ節、髄膜炎）

★訪問日程★

月	火	水	木	金	土	日
9:00～ 50分	9:00～ 50分	9:00～ 50分	9:00～ 50分	9:00～ 50分	9:00～ 50分	9:00～ 50分
訪問看護 BN	16:00～ 30分	16:00～ 30分	16:00～ 30分	訪問看護 BN	16:00～ 30分	家族



C様 〈シズケアかけはし〉 不参加

・次回の訪問まで内容確認が出来ない。
・文字なので状況が伝わりにくい。

・訪問看護と時間を合わせ一緒に
手技をしてもらい支援内容を確認。

シズケアなら、早ければその日のうちに返信が来て、
ヘルパー間で情報共有できるのに…

連絡にタイムロスがあるように感じた。

事例を通しての感想

・コロナ過により医療リスクの高い方やターミナルの方は在宅を希望する事が多かった。

・事例の方たちも、家族と同居の為、深夜・早朝の訪問は必要なかった。

介護保険＋総合事業 64名	障がい福祉 37名	自費 4名

計105名（R5.1月時点）うち7名がシズケアかけはしを利用。

現在もシズケアかけはしを利用し、

情報共有している方が少しずつ増えている。

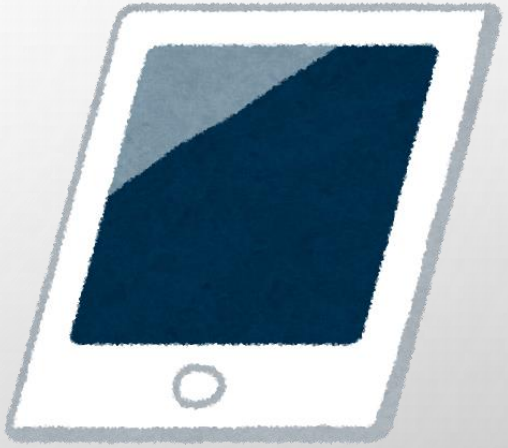
3. 活動の成果と評価

・ぬくもりの里のヘルパー16人での月の訪問回数は962回

常勤換算にすると1ヶ月100件ほど訪問している。

・登録ヘルパーが多い為、情報の共有が大切なので

iPadとポケットWi-Fiを一人一台導入。



①情報の共有

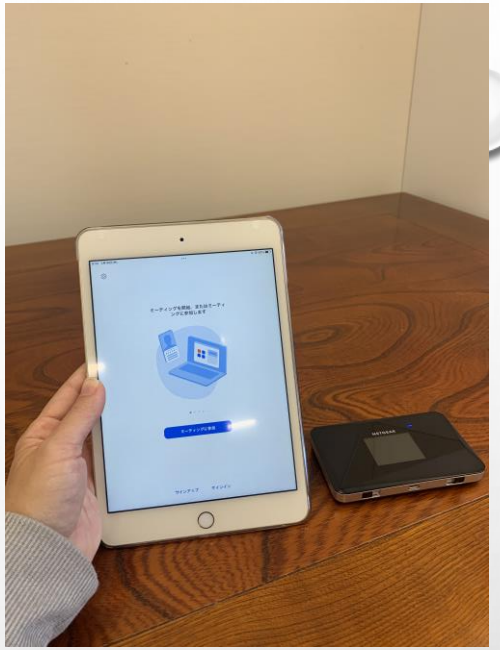
・ヘルパー間で令和2年に導入されたケアカルテの有効利用ができる。

情報を入力するといつでもどこでも確認できる。

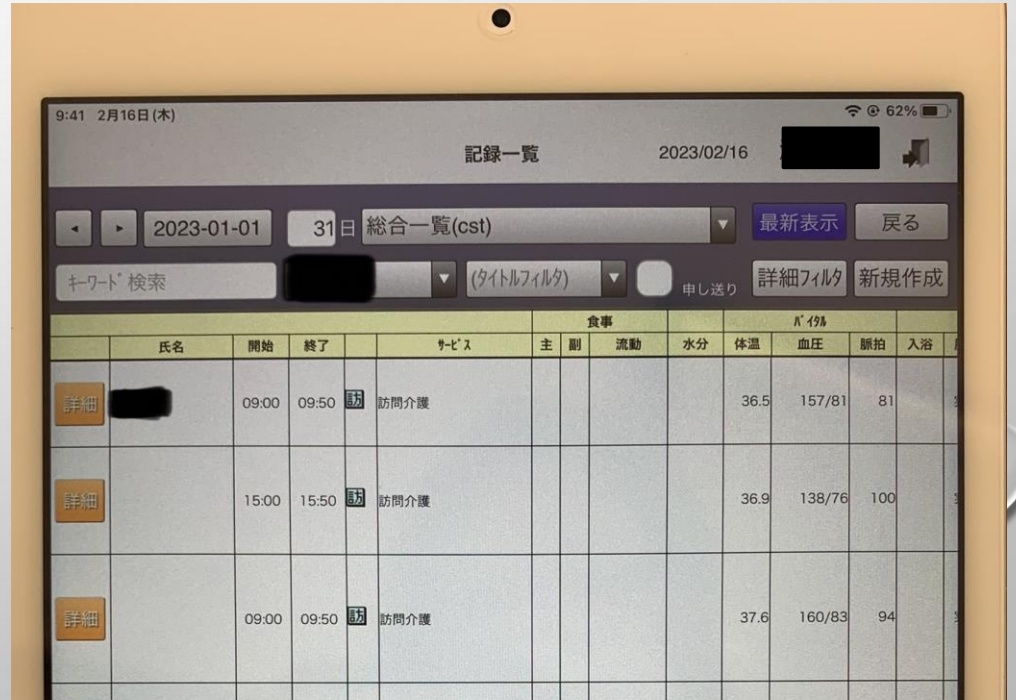
・iPadにZOOMが導入され会議も各自宅でできる。

移動しなくてもいい。

一同集合していない為感染症対策として有効。



iPadで記録も
閲覧可能！



・シズケアかけはしに質問すると、
看護師、医師から回答が届く。

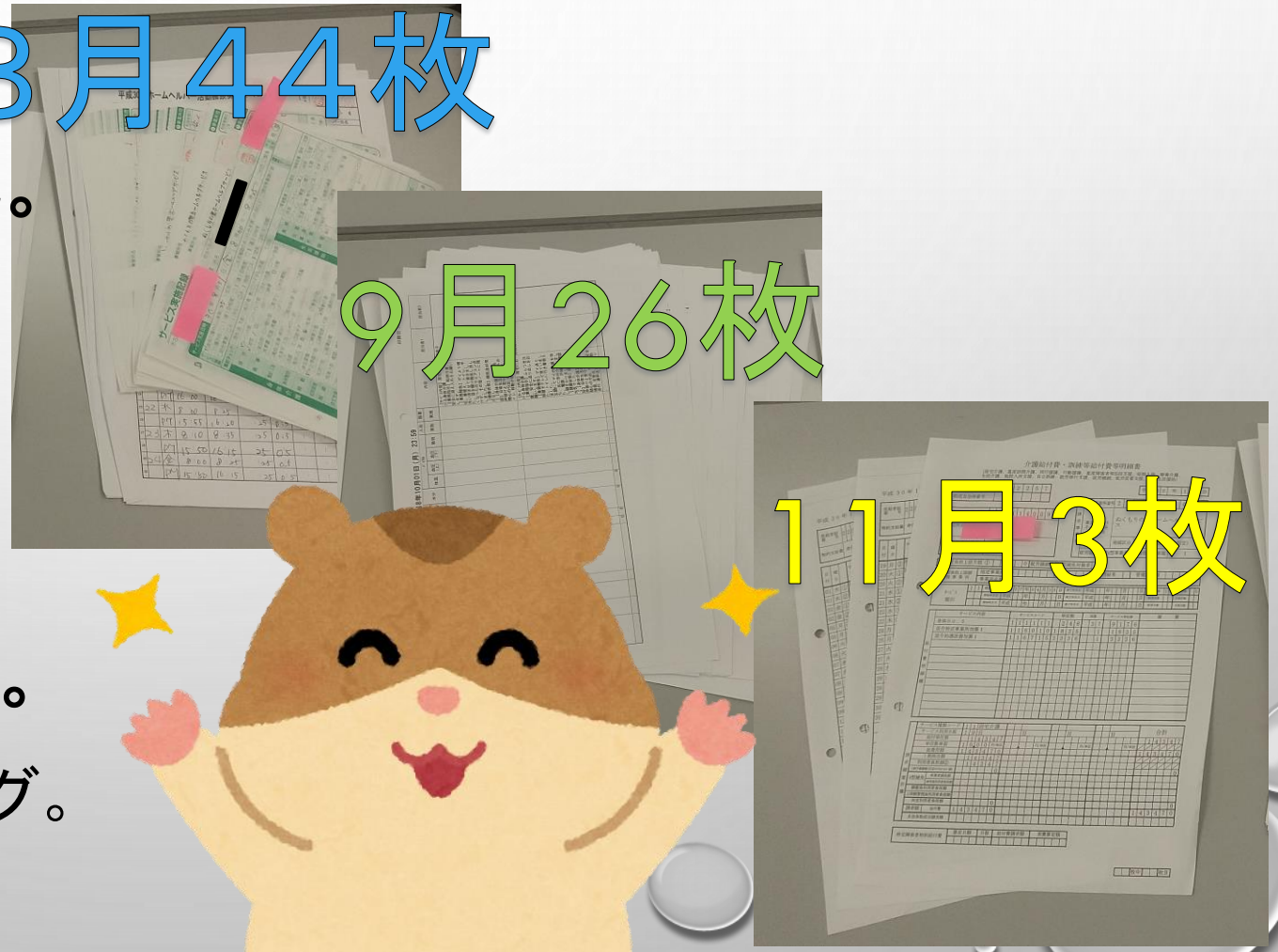
②効率化

・必要な情報のみプリントアウトすればいい。

情報にタイムラグがない。

・個人情報の資料の軽量化。

ペーパーレス化。



・ヘルパーの荷物の軽量化。

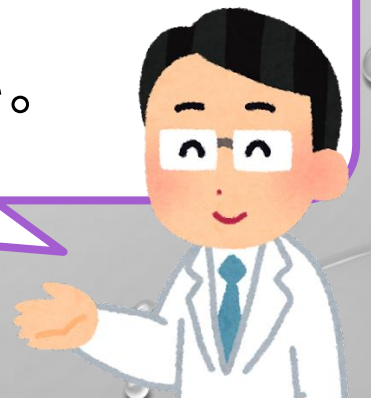
意外に重たいヘルパーのバッグ。

③情報の連携

・LINE・・・ヘルパーの中で共有することができる。
・ケアカルテ・・・春風会の中で共有することができる。
・シズケアかけはし・・・外部の他事業所と共有することができる。

B医師と話す機会があったので、ヘルパーがシズケアかけはしに入っていることについて聞いてみた。

医療的見方ではなく介護の視線からの意見を教えてもらえると、チームケアの充実になるので、是非チームに参加して情報提供をしてもらいたい。



④まとめ

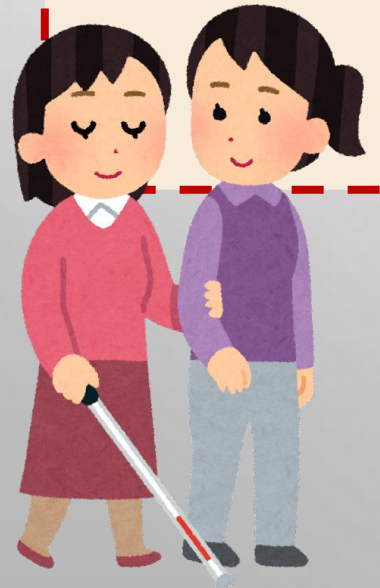
・〈シズケアかけはし〉を利用してみたヘルパーの声

・医師からの直接の声が聞こえるのは励みになる。
・医師、看護師が何をしているのか分かりやすい。
・写真が載っていて分かりやすい。
・安心感がある。

・ヘルパーとしての誇り

利用者は、100人全員の支援内容が違う。
それに対応できるぬくもりの里ヘルパーは、内容を選ばず支援ができる。

全盲　メンタル
聾唖　麻痺
難病
など



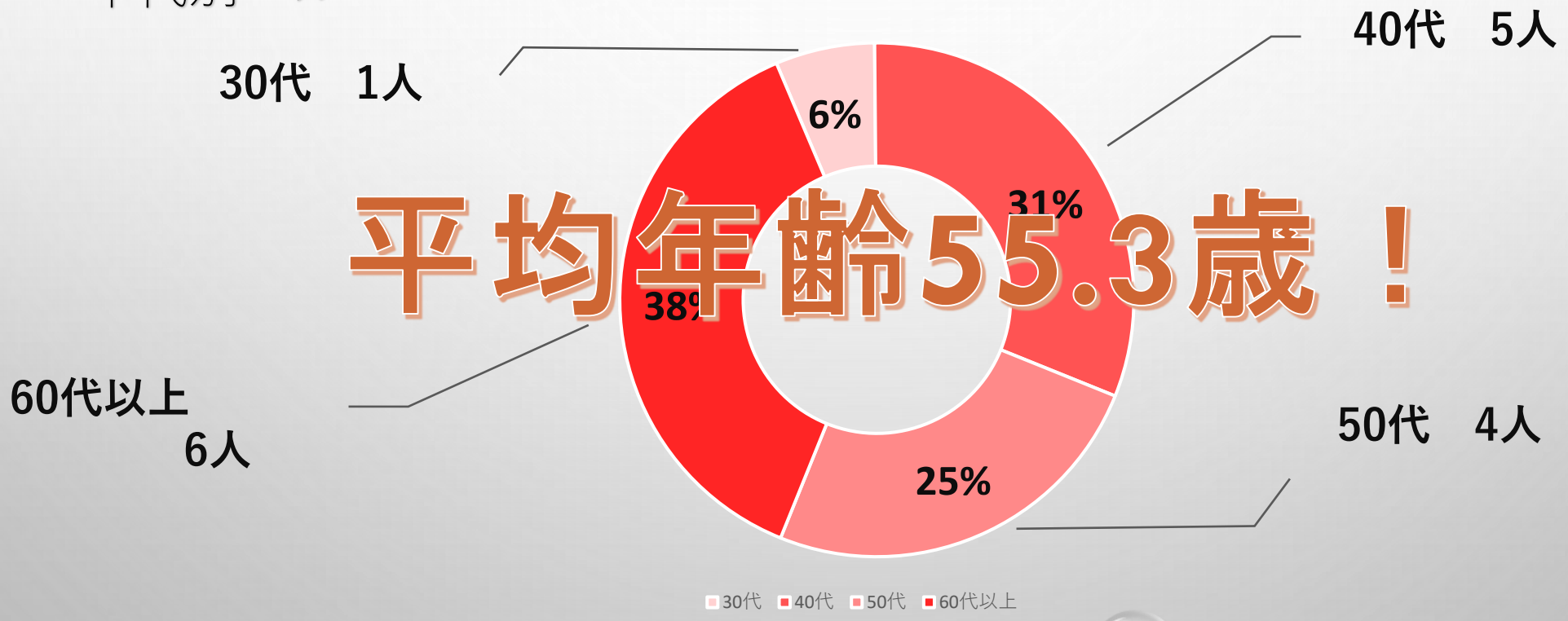
幅広い年齢（20歳～100歳）

オムツ交換　通院介助
入浴　同行援護
掃除
調理
洗濯
など

4. 今後の課題

・ヘルパーの高齢化

年代別ヘルパー



平均年齢55.3歳！

・シズケアかけはしの利用拡大

〈シズケアかけはし〉は、現在、伊豆の国市の中で
A病院の訪問診療の4人の医師が積極的に利用している…

今後様々な医師が使うことで効果が上がり、
また、ぬくもりの里訪問介護が参加しているという認知度を上げる事で
利用者拡大につながると思われる。

ご清聴ありがとうございました。

※なお、プライバシー保護のため、一部の記載内容に対して論旨に影響が生じない程度の変更を加えてあります。